空調タイムズ
3月19日水
2008年〈平成20年〉

加盟店募集！ エアコン丸洗いは、特許を取得したエアコンクリーニングです。

4月10日、
全国総会開催！

エアコン丸洗い協会総会
時間：13時 成功事例発表
16時 丸洗い診断士
18時 懇親会
場所：千葉県船橋市
セミナーハウス クロスウェーブ
加盟希望の方、総会参加歓迎！
詳細は下記ホームページ
協会ホームページ
http://www.acb3.jp

資料提供：エアコン流通人

主催：エアコン丸洗い協会　千葉県船橋市芝山6-47-14　TEL：047-440-2714

エアコン丸洗い

会員企業の事業展望を模索

家庭用からAHUまで範囲拡充

西村　直人社長

〝エアコンを丸洗いする〟というダイレクトな表現で事業の明確化を行ったのが〇五年。独自の薬液開発ならびに洗浄工法、洗浄器具の開発で唯一のボランタリーチェーンとして前身のACB協会を発足したのは既に十二年前に遡る。任意の団体として協会運営を行うとともに株式化し、ハード機器の開発に従事。協会を通じ、会員企業へそのリターンを行うのがエアコン丸洗い（社長＝西村直人氏、本社・千葉県船橋市芝山六―四―一四）。

西村直人社長は〇七年の事業進捗を「省エネ改正法の施行などエアコン洗浄を取り巻く環境は追い風とはなっているが、根幹の事業領域やエンドユーザーへ直接訴えかける場が少ないことと、安易な手法での参入事業者乱立で洗浄ビジネスそのものが、軽視されている現状がある」とし会員企業へ対する事業化としての展望を新たに模索している状況だという。

エアコン丸洗いが幹事会社となるエアコン丸洗い協会（会長＝西村直人氏、会員数・二三七社）は協会自身の目的を会員相互のノウハウ交流もある。（西村会長）こうした現状のなか来月、四月九日に開催される第十四回目となる定時総会においても、テーマは〝原点回帰〟にあり、改めて洗浄ビジネスの展望を探るというものだ。

現在、協会が見据える将来展望は今年よりスタートされる同社と加盟店にあたる会員企業が自ら営業開発を行う、三位一体の仕組みをとっていることなどが取りづらく、目に見えた形での算出や開示が行われていないことを指摘する。そのうえで、こうしたニーズに応える技術開発やエネルギー消費の見える化事業、ESCO事業への推進などへ期待を寄せる。さらに省エネ事業の有効手段として丸洗い事業を提案することで市場拡大は十分に考えられるとしている。

◇

例えば中国などでは北京五輪開催を控え、市内の一万施設、ホテル、公共施設のエアコンを対象に清掃を義務化し違反者には罰金を課する条例を制定している。さらに〇六年には中国国内にて大量発生した鳥インフルエンザに対する措置として空調ダクトの清掃の法案を成立させた経緯がある。すなわち、わが国においてもこうした義務化やこれに準じた判定基準、ついては〝エアコン診断士〟などの育成、設置を行うことでステータスシンボルを築く必要があるという。

同協会ならびに同社がこれまでエアコン丸洗い事業に取り組んだ経緯において、各種のステップアップも果たしてきた。出願した特許は既に五例に及ぶとともに、公的支援においても平成十八年には千葉県新産業創造開発研究費補助金事業への採択や環境省が認定するエコジャパンカップなどがある。さらに設立当初、アルカリ、酸、水という三種の薬液を使用した洗浄工法で家庭用ルームエアコンを中心に展開した事業は平成十八年には、これまで殆ど手がつけられていなかった領域の大型ビル用空調機、AHU（エアハンドリングユニット）についても、特殊ブラシ付きの高圧ポンプ搭載、熱交換器専用の洗浄機を開発し、これによりセット、大型ビル用空調と事業領域を拡大している。

家庭用から、業務用天井カ